

| | | | |
|---------|--|------|---|
| 区分 | <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 再提案 (R2・4・16第146回総会；飯田市、伊那市) | | |
| 種類 | <input checked="" type="checkbox"/> 現行制度の改善又は拡充を求めるもの <input type="checkbox"/> 新たな施策の要望又は提案を求めるもの <input type="checkbox"/> 特に市町村への財政支援策等を求めるもの <input type="checkbox"/> その他 () | 分野 | <input type="checkbox"/> 総務文教 <input checked="" type="checkbox"/> 社会環境 <input type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 危機管理建設 |
| 要望先 | <input checked="" type="checkbox"/> 国 | 担当省庁 | 厚生労働省 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 県 | 担当部局 | 健康福祉部 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> その他 | 名称 | 全国民生委員児童委員連合会 |
| 件名 | 9 民生委員・児童委員制度の在り方と負担軽減について | | |
| 提案市 | 塩尻市 | | |
| 提案要旨 | <p>民生委員・児童委員を取り巻く社会状況は、制度創設から100年以上を経過する中で大きく変化している。各種福祉施策が創設、強化される中で、この制度が時代に適応しているのか検証をお願いしたい。</p> <p>また、民生委員・児童委員のなり手が不足するなど事態は深刻化しているため、委員の定数や活動の見直しなど、将来に向けての具体的な指針を示すことを要望する。</p> | | |
| 提案理由 | <ul style="list-style-type: none"> ・年金支給開始年齢の引き上げとそれに伴う定年の延長など、地域での活躍が期待されていた団塊ジュニア世代の就業構造、生活スタイルの変化などもあり、委員のなり手不足はいよいよ深刻な状況となっている。 ・推薦母体である地域自治組織においても現任委員の高齢化と年金支給年齢の引き上げとそれに伴う就業構造の変化もあり引き受けていただけないとの声が数多く寄せられている。 ・地域における要支援者等の生活課題は、複合化、複雑化により個別性が極めて高く、相談内容が高度化していることから委員への負担感や責任が重くなっている。 ・今の時代に合った制度への見直しと、無償となっている報酬について、活動の負担と責任の度合いに見合った報酬の設定など根本的な見直しにより、なり手の確保につなげたい。 | | |
| 現況及び課題等 | <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員・児童委員の充足率 (全国 95.21% 塩尻市 98.13%) ・民生委員・児童委員の再任率 (全国 68.56% 塩尻市 51.59%) ・当市の民生委員・児童委員の年齢等 (最高齢 78歳 平均69歳 R4.6.1) ・民生委員・児童委員の意向調査の結果 (委員の解任希望 77.42%) | | |
| 関係法令 | 民生委員法、児童福祉法 | | |